

技術レポート

テクノロジーをすばやく分析するにはどうしたらよいだろうか？このテクノロジーの主な企業および発明者は誰だろうか？新規ターゲット市場や新規参入企業など、新たなトレンドはあるだろうか？

Derwent Data Analyzer (DDA) では、技術レポートを含む 3 つの自動レポートを利用でき、すばやく詳細な分析を行うことができます（企業比較レポートおよび企業レポートも参照）。技術レポートは、人名、機関名、国、年、技術に基づいてテクノロジーを分析し、Excel ファイルのレポートを作成します。

Derwent Innovation で検索を実行し、結果をエクスポート

技術レポートを実行する前に、Derwent Innovation にて着目するテクノロジーについて検索を実行し、分析のためのデータをエクスポートします。

テクノロジーの検索を実行

1. キーワード、分類組み合わせ、スマートサーチ機能を使用してテクノロジーの検索を実行。
2. 任意で、検索結果オプションから [DWPI ファミリーを取得] を選択
3. DWPI ファミリーを取得した場合、ツールメニューから [表示と並び替えのオプション] をクリックし、折りたたみ単位で [出願番号] を選択

データをエクスポート

1. 検索結果画面で [エクスポート] ボタンをクリック
2. [フォーマット] のドロップダウンメニューから、[Derwent Data Analyzer] を選択
3. 予測データの法的状況の情報（有効/無効、推定有効期限、推定残存期間）を含む、DDA での分析に最適なフィールドが割り当てられています。
4. 任意で、ファイル名を指定したり、[ファイルを .ZIP で圧縮] のチェックを外す
5. [作成] をクリックしてエクスポートデータを作成
6. [注文状況] スクリーンで、エクスポート処理の完了を待ち、そして [ダウンロード可] リンクをクリックしてファイルをダウンロード

システムによって、拡張子 **pdf** のファイルが作成されます。pdf ファイルをダブルクリックするだけで、DDA が自動的に起動し、インポート処理が開始されます。

Derwent Data Analyzer で技術レポートを作成

技術レポートには、クリーンアップされたデータが最も適しています。正確なレポートを作成するには、自動および手動のクリーンアップ両方を実施することを推奨しています。例えば、[譲受人/出願人] フィールドに対しては、DDA の当該フィールドで、最終的なリストから個人を除去したものをを使用することをおすすめします。また、このリストのさらなるクリーンアップが必要となります。これは、M&A、スペルエラー、企業名のわずかな差異によって、DDA の自動化アルゴリズムではマッチしないためです。その他のフィールドについては、デフォルトではないフィールドでレポートを実行したほうが役立つ場合があります（例：発行国と優先権主張国を変更）。

譲受人/出願人フィールド（個人を除く）を開く

譲受人/出願人コード-DWPI (数)
譲受人/出願人コード-DWPI
譲受人/出願人 (ロング)
譲受人/出願人 (ベスト)
譲受人/出願人 (クリーン-個人を除く)
譲受人/出願人 (クリーン)

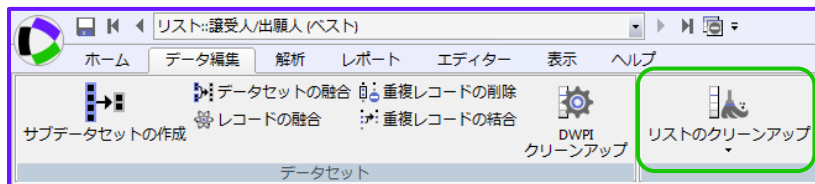
1. サマリー画面で、譲受人/出願人フィールドを探す。
2. [譲受人/出願人 (クリーンアップ済み - 個人を除く)] をダブルクリック。

その他のフィールドは？

- [譲受人/出願人] は、オリジナルの譲受人です。
- [譲受人/出願人 (ベスト)] は、DWPI 譲受人データの階層に従います。
- [譲受人コード - DWPI] は、企業に割り当てられた 4 桁のコードです。大企業に対しては、DWPI コードの使用をおすすめします。

自動的に譲受人/出願人リストをクリーンアップ

譲受人コード	出願国	譲受人/出願人
1643	1643	INTEL CORPORATION
58	58	INTEL CORP
8	8	INTEL CORPORATION SQ4-202
3	3	BERLIN A A
3	3	KOO T
2	2	CHAN S
2	2	SU X



サマリー画面のフィールドをダブルクリックするとリストが表示されます。左の上図には、最も頻出する譲受人/出願人のデータが表示されます。

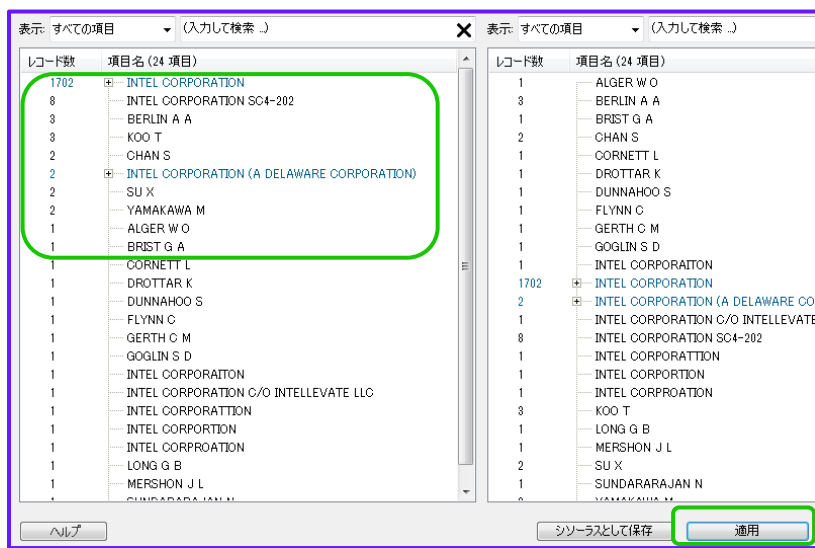
リストを元に分析を開始し、棒グラフや円グラフ、ワードクラウドを作成することができます。

ただし、リストの分析を開始する前に、データをクリーンアップしてください。

1. リボン上のデータ編集タブをクリック
2. [リストのクリーンアップ] アイコンをクリック
3. [リストのクリーンアップ] 画面では、[Organization Names.fuz] という名称のファジーマッチ フィルターを選択
4. [適用] ボタンをクリックし、自動クリーンアップを実行

自動クリーンアップが完了した後、[クリーンアップ確認] 画面を表示（この画面で、自動処理の結果を手動で変更することもできます）

リストの自動クリーンアップの推奨設定を確認／手動で変更



リストの自動クリーンアップを実行した後、ファジーマッチ フィルターによって結合された項目が表示されます。

ある企業を他の企業の上にドラッグ&ドロップすることで、さらにクリーンアップを改善することができます。

例えば、左図では、フィルターによって認識された 2 つの異なった企業名 (INTEL CORPORATION および INTEL CORPORATION (A DELAWARE CORPORATION)) が表示されています。同一の企業が別々の名称で表示されている場合、両者をドラッグ&ドロップで一つにまとめることができます。リストの中のこれらの項目は結合されて分析されます。

[部分一致項目を検索] や [入力して検索] などを利用して、一致しやすくすることができます。

任意で、この結合をシソーラスとして保存することができ、今後の処理で適用することもできます。

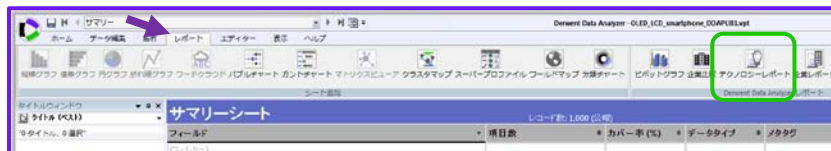
[適用] をクリックし、新規リストを作成します。

技術レポートのためのフィールド選択のヒント

技術レポートには、クリーンアップされたデータが最も適しています。新たにクリーンアップされた譲受人/出願人を分析に使用します。その他のフィールドについては、デフォルトではないフィールドでレポートを実行したほうが役立つ場合があります。年データおよび国データとして、出願年/国、出願年/国 (ベーシック)、優先権主張年/国、公報発行年/日などのデータを利用すると別の見方を行うことができます。例えば、[優先権主張年 - 最先] は、その技術の権利保護が開始された年について示します。発行国は、ターゲットとなるマーケットの国を示しますが、優先権主張国は、アイデアの起源となった国を示します。技術は分類コードによって表されますが、DWPI マニュアルコードに縛られことなく、より大まかな分類の IPC/CPC クラス、DWPI クラス、IPC キッチワードなども利用することをおすすめします。

技術レポートの実行とデータカテゴリの設定

DDA クリーンアップを実施したファミリーベースの DDA ファイルであることを確認してください。このファイルは、インポート時に自動的に作成されます。



1. リボン上で [レポート] をクリックし、[企業レポート] を選択します
2. データがクリーンアップされたものであるかどうかを確認され、そうでない場合はクリーンアップ処理後に実行します

各分野の適切なフィールドを選択してください。

次の指摘があった場合:
メタタグの不足 - その分野の正しいフィールドであることを確認します。
x% のみカバー - 正しい結果が得られない可能性があります。
再度 [OK] をクリックして、確認します。

人名: 発明者 (クリーン)

機関名: 譲受人/出願人 (クリーン個人を除く)

国/地域: 優先権主張国

年: 優先権主張年 (最先)

技術: 分類-DWPI マニュアルコード

デフォルトに戻す OK キャンセル

技術レポートのための 5 つの主なカテゴリが表示されます。

- **[人名]** - 通常、発明者
- **[機関名]** - 譲受人、または任意に作成した譲受人のグループ
- **[国]** - 優先権主張国 (発明がなされた地域) または DWPI ファミリーメンバー国 (出願先の国)
- **[年]** - 優先権主張年 - 最先 (発明がなされた時期)
- **[技術]** - DWPI マニュアルコード (Derwent 分類システム) または IPC が技術の比較に利用されます

技術レポートを利用する

Clarivate Analytics

Derwent Data Analyzer
技術レポート

合計レコード数: 1006
開始年範囲: 1995 - 2014
ピーク年: 2006 [338 レコード]
レポート作成日: 2019/3/4
技術: 分類-DWPI マニュアルコード

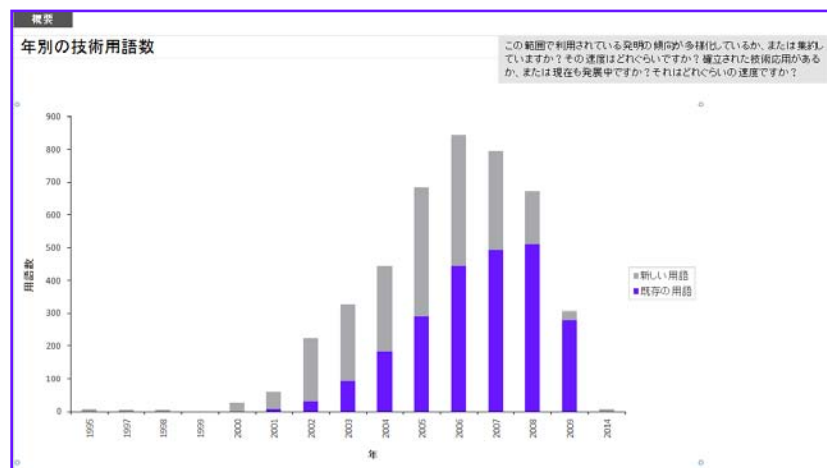
選択したデータフィールド	エントリ数	ファイル範囲
発明者 (クリーン)	2440	100%
会社: 譲受人/出願人 (クリーン)	2102	100%
地域: 優先権主張年	29	100%
年: 優先権主張年 (最先)	15	100%
技術: 分類-DWPI マニュアルコード	2077	99%

Derwent Data Analyzer Technology Report は、特定の範囲内で発明の技術または技術応用の詳細な分析を効率的に作成し、提供できるようにします。この情報は、レポートの作成時に選択した分類コード体系に基づきます。たとえば、CPC、IPC、または DWPI マニュアルコードなどがあります。このレポートは、データセットにおいて最も活発な技術分野を基盤とした見解のもとに設定されます。

この概要ページで、本レポートの大体の内容を概観してください。範囲、使用するフィールド、そして最も重要なレコード間のフィールドの対象範囲などに特に注意してください。対象範囲が不適切であると、分析の正確性が失われます。

1. 技術レポートは、Microsoft Excel 上で表示
2. このレポートの **[概要]** シート上に要約情報を表示
3. **[要約]** 欄には、レコード数、年の範囲、レポート作成日を表示
4. **[対象範囲]** 欄には、分析されたデータを表示 (例: 優先権主張国および優先権主張年)
5. 参照する分析情報を左上のリンクから選択するか、各 Excel シートを直接選択

レポートには詳細な説明が提供され、さらなる分析を促す



各シート右上にあるグレーのテキスト欄には、それぞれのレポートの説明が表示されます。各シートの情報は、以下のような疑問を解決するのに役立ちます：

- このテクノロジーでトップの企業はどこか？
- 企業、発明者、テクノロジーに関連したトレンドはあるか？
- このテクノロジーで最も新しい企業はどこか？

左のグラフは、優先権主張年を元に、DWPI マニュアルコードで示されている新規または既存のテクノロジーごとのレコード数を表示しています。これにより、年ごとに新規/既存のテクノロジーがどのくらいあるのかについてすばやく確認することができます。